学校番号	３０４

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	古典演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教材等	過程の演習　新国語問題集　アシスト第２３集　古文編(啓隆社)						
	すらすら読める　速読古典Ⅱ（啓隆社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

演習中心の科目。課題文については、授業の中であれ、自宅での課題(宿題)であれ、時間を決めて集中して読むことを意識してください。また、読解のポイントについては授業で解説するが、単なる答えあわせではなく、考えることを第一に取り組むこと。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などににについて理解し、身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】
様々な古典の文章を通じて、論理的思考力・文章読解力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
作品を味わうことで、古典世界に対する関心を持ち、人間生活のさまざまな機微を読み取れる感性を培う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。	・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて，古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・「読むこと」において、関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に，自分のものの見方，感じ方，考え方を深めている。	・古典に興味をもち、登場人物の言動から多様な価値観を読み取ろうとしている。 ・古典の作品や文章を読み，その内容や形式などに関して興味をもったことや疑問に感じたことについて，調べて発表したり議論したりしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	動詞 ［教材］問題1～4	a：語句の意味や用法、敬語表現などを理解し，語彙を増やしている。 b[読]：本文に表れている作者のものの見方や感じ方を理解するとともに、的確に説明している。 c：作者のものの見方や感じ方について、自分と比べるなどして考えを深めようとしている。	定期考査	記述の確認 及び分析 （ワークシート等） 定期考査	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等） 宿題テスト 小テスト
	用言 ［教材］問題5～8	a：古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b：[読]作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 c：粘り強く本文の内容を読み解き、今までの学習を生かして構成を整理しようとしている。			
二学期	助動詞Ⅰ ［教材］問題9～12	a：古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b：[読]作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 c：作者のものの見方や感じ方について、自分と比べるなどして考えを深めようとしている。	定期考査	記述の確認 及び分析 （ワークシート等） 定期考査	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等） 宿題テスト 小テスト
	助動詞Ⅱ ［教材］問題13～16	a：時間の経過による言葉の変化や、現代まで続く言語文化に古典が与えた影響について十分に理解し、本文の読解に生かしている。 b[読]：語句や文法に注意し、登場人物の行動と心情を読み取り、整理している。 c：古典に興味をもち、多角的な視点から言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。			
三学期	助詞 ［教材］問題17～20	a：時間の経過による言葉の変化や、現代まで続く言語文化に古典が与えた影響について十分に理解し、本文の読解に生かしている。 b[読]：語句や文法に注意し、登場人物の行動と心情を読み取り、整理している。 c：古典に興味をもち、多角的な視点から言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。	確認テスト	記述の確認 及び分析 （ワークシート等）	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等） 宿題テスト 小テスト

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度
※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。
※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　２５　）時間
・書くこと　…　（　４０　）時間
・読むこと　…　（　４０　）時間